

2021

就業

技術職



Toyota City Staff Recruitment Guidebook

豊田市職員 採用ガイドブック

WORK

未来に残す。繋ぐ仕事。



01

松平地域体育館等 新築工事

スポーツの振興及び体力と健康の増進を図り、また、レクリエーション、ふれあい、交流の場として、市民が気軽に利用できる屋根付広場及び体育館の整備を行います。なお、体育館は隈研吾建築都市設計事務所の意見を取り入れた意匠としています。

《事業期間》

2018.5～2019.9	建築設計
2019.12～2021.2	屋根付広場工事
2020.3～2021.10	体育館工事

02

市道東広瀬2号線 道路新設工事

市民の活動や暮らしを支える新しい生活道路として工事を進めています。力石町と東広瀬町をつなぎ、県道へ接続することにより、地域の利便性と安全性の向上が期待されます。

《事業期間》

2014.4～2016.3	設計
2016.4～2021.3	土工事 擁壁工事 補装工事
2021.3	開通

まちのランドマークをつくる仕事や、暮らしを下支えする仕事。

すべてに共通して言えるのは「**次代へ繋ぐ重要な仕事**」ということ。



03

新・豊田市水道ビジョン

水道事業の具体的な取組を示した「新・豊田市水道ビジョン」を策定し、どんな時でも安全で安心な水道水を提供できるように、古くなった水管の更新や耐震工事を実施しています。

《事業期間》

2015.4～2030.3 水道管の更新・耐震化等



04

都市計画道路 高橋細谷線 竜宮橋 橋りょう整備工事

都市の骨格を形成する主要幹線道路のうち、内環状線を担う高橋細谷線（現2車線）の4車線化整備に伴い、矢作川を渡る竜宮橋の橋りょうを新設するとともに既設橋りょうの耐震補強工事を併せて実施します。

《事業期間》

2015.4～2017.3	設計
2017.4～2023.3	新設橋工事 既設橋耐震補強
2025.3	4車線化完成（予定）



職員は街づくりの コーディネーター。

私が所属する「道路予防保全課」は、橋りょうなどの道路施設を「壊れる前に修繕」して、長く使用する事で管理コストを縮減させる「予防保全」に取り組んでいる職場です。

私は土木職で入庁してから、街づくりに関連する多くの部署を異動してきました。これまでの経験から市の土木職員の役割は、市民代表の市長さんや議員さんが示す方針の中で、街を利用する市民の方と、国・県などの関係機関や建設会社などを結び、調整を図りながら街づくりを行う「コーディネーター」であると感じています。入庁後は、多くの職場を経験するため不安を感じるかと思いますが、自らの役割を理解し実行していく心配ありません。一方で、専門知識を磨く技術研修への参加や、現場経験を生かした資格取得など自らのキャリアアップも可能です。また、福利厚生や休暇制度も充実し、気さくな上司や同僚ばかりの働きやすい職場環境だと思います。

この春に就職をお考えの皆さん、街づくりのコーディネーターとして豊田市役所へおいでん（“おいでん”は三河弁で「来てね」の意味）。



土木職（昭和62年度採用）**杉山 勝浩**

先輩職員からのメッセージ

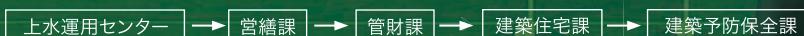
感動を生む施設を守り、 維持改善していく。

私は電気という職種で入庁しました。市役所職員の中では機械という職種と合わせ“設備系”という括りで呼ばれることが多いのですが、設備系職員の主な業務は公共施設の營繕や維持管理になります。

私自身もこれまで上水道施設や、学校、こども園、市役所庁舎など様々な公共施設の改修事業を担当してきました。より良い施設となるよう協議検討を重ね、設計・工事監理業務を行い、それが実際に形になったときの達成感はひとしおです。近年では、ラグビーワールドカップ開催に向けた豊田スタジアムの大型ビジョンや照明設備の改修など、会場整備業務を担当しました。私も運よく日本対サモア戦をスタジアムで観戦することができたのですが、あの熱狂と感動の空間を作ることの一部に携われたことは一生忘れられない経験となりました。

現在の建築予防保全課では、維持管理業務の適正化を目的とした庁内会議の運営や、施設管理者に向けた研修会の企画・開催などを主に担当しています。

豊田市は同等規模の他自治体と比較すると多くの公共施設を保有しており、維持管理にあたっては様々な課題を抱えています。市民の皆さんのが安全安心に使える施設を維持していくことは重要なミッションです。一緒に豊田市の公共施設を守っていきましょう。



電気職（平成14年度採用）**倉橋 大樹**

自分の思いが 実現できる環境がある。

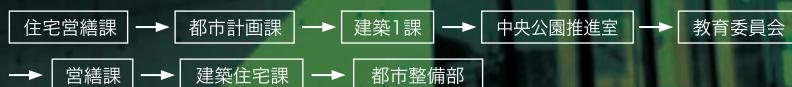
公共施設の營繕をはじめとする豊田市の建築行政全般を統括していますが、若い頃は、建築職員として設計業務の一線に立っていました。印象に残っている仕事は、豊田市美術館の設計に携わったことです。設計者である谷口吉生先生のレベルが高過ぎて、当時の私にはとても理解できない部分もありました(笑)。

豊田市には自分の思いが実現できる環境があります。建物の規模によっては、自ら設計することもあり、時には悩むこともありますが、自分が一所懸命に考えたものが目に見える形になることは何事にも代えられないやりがいとなります。

建築職は、仲間意識が強く、お互いの個性を認めつつ、和気あいあいと仕事に取り組んでいるので、業務に必要な知識やスキルを切磋琢磨しながら習得することができます。

また、休暇制度なども整っているため働きやすく、将来設計も立てやすいため、安心して長く働くことができます。

豊田市のため頑張る気持ちを持ち続けられる方「WE LOVE とよた」のもと、建築行政と一緒に盛り上げましょう。



建築職（昭和59年度採用）中村 誠



Message



豊田市なら長く働き続けられる 環境がある。

異動初年度には都市の骨格となる道路網の検証を行いました。入庁時に配属された土木課での設計・監督業務に加えて市全体を俯瞰した業務に携わることにより、土木行政への理解が深まりました。

現在は都市計画に関する各種制度の運用を行っています。都市計画は時として個人の土地利用に制約を設けることになるため、民間に勤務していた頃とは異なる責任を感じます。市民や業者の方々に、法律や制度をわかりやすく、公平に、かつ正しく理解してもらえるよう日々努めています。

豊田市では約3年間の育休取得が可能ですが、家庭と仕事のバランスの取り方を模索したく、育児短時間勤務制度を利用して産後1年半で復帰しました。この制度では1日約5時間勤務が認められるので、子どもとの時間もしっかりと確保できています。こうした制度の利用を快く受け入れ、自分の勤務時間外のバックアップ体制も整えてもらえるので、ライフステージが変化しても安心して働くことができます。

市外出身ではありますが、まちを知り、市民と関わることで愛着が湧いてきました。一緒に豊田市のまちづくりに関わることを心待ちにしています。



土木職（平成26年度採用）伊藤 美郷

職員のチャレンジ精神を 生かせる環境がある。

建築予防保全課では「安全・安心なまちづくり」を推進するため、市有建築物の修繕・保守点検業務などを行っています。建築物は「建てて終わり」ではなく、長く使い続けるためには適正な維持管理を行うことが大切です。すべての施設で安全・安心が確保されることを目的に、日々業務に励んでいます。

入庁してから9年間配属されていた公共建築課では、豊田市美術館改修工事やものづくり創造拠点整備工事など独創性の高い施設の設計・工事監理を担当しました。大型案件は困難なことが多いですが、その分やりがいや達成感を得ることができました。

また、熊本地震の応援派遣職員として1年間熊本市で勤務したこと良い経験となりました。震災復興業務に携われたことや、豊田市と他自治体の違いを知れたことで、視野や見識を広げることができたとともに、豊田市に置き換えたときにどう対応すべきかを改めて考えるきっかけとなりました。

建築行政の業務は営繕や建築確認申請業務、定住施策など多岐に渡り、建築行政ならではの面白さがあります。豊田市は職員のチャレンジする気持ちを尊重してくれる環境が整っていますし、上司や先輩職員は頼りがいのある人ばかりです。ぜひ一緒に豊田市のまちを良くしていきましょう。

公共建築課（うち1年間熊本市派遣） → 建築予防保全課

建築職（平成22年度採用）**柘植 厚美**



国や県と調整しながら 幹線道路を整備する。

豊田市は愛知県の中で一番面積の広い自治体であり、都市部から山間部まであります。私は、豊田市出身ではありませんが、どの自治体よりも土木職として力を発揮するフィールドが多くあり、これからのまちの発展に関わっていきたいと思い就職先に選びました。

現在は、国道や県道などの幹線道路事業に関連する市道を国土交通省や愛知県と調整を行いながら整備しています。

私が初めて発注した工事は、豊田北バイパスの開通に関連した道路整備でした。この工事を行うために多くの人との協議が必要でしたし、設計書を作成するのに時間を要しましたが、上司や先輩のフォローもあり、無事に発注することができました。工事が始まり徐々に形になっていく姿を見ると市民生活の基盤となる道路を作っているという達成感とやりがいを感じました。

豊田市外出身ということで、地名などが分からず困ることもありました。しかし、最初から全て知っている人などいませんし、市内に住んでいても何もかも知っているわけではありません。住んでいる場所など関係なく、自分の働きたい場所で働きませんか？少しづつ知っていけば大丈夫です。豊田市と一緒に良くしていきましょう！

幹線道路推進課

土木職（平成30年度採用）**丹羽 政仁**





まちを訪れる人々に 利便性や快適性を届ける。

都市整備課の仕事は、市民と一緒に『にぎわいのあるまちづくり』を目指し、都心地区における道路や都市施設の計画や整備を行っています。具体的には、豊田市駅周辺の道路や広場、ペデストリアンデッキの再整備等に取り組んでおり、利用する人達の利便性や快適性を生む事業を展開しています。休日は、民間企業時代ではあまりとれていなかった子どもとの時間や自分の時間を大切にし、趣味のキャンプに没頭しています。

私の経歴は、民間企業で土木施工管理や土木設計等の経験をした後に豊田市に転職してきた、いわゆる「中途採用組」です。転職するまで、市役所は「固い」と思っていましたが、固いのは仕事であり、職員の人柄は明るくてユーモアある人がとても多いです。求められているのは、柔軟な発想と活発な行動力ですので、「柔らかい人」は大歓迎です。

そんな豊田市役所で、やる気にあふれる皆さんと一緒に仕事がしたいです。何十年か先に「この仕事に就いてよかった。」と思える様、共に頑張りましょう。

道路維持課 → 道路予防保全課 → 都市整備課

土木職（平成22年度採用） 佐々木 貴宏

市に限らず多方面で技術者として 高みを目指せる。

入庁して10年目は、国土交通省の名四国道事務所に出向していました。配属先の工務課では、豊田南北バイパスと国道23号蒲郡バイパスの当初から完了までの工事積算業務を行っていました。豊田北バイパスにおいては、2019年3月に市の担当者としてバイパスに接続する(都)平戸橋土橋線、6月には国の担当者としてバイパス本線の平戸大橋開通に携わり、市、国の2つの立場から道路事業を調整することで、広い視点で仕事をすることができます。蒲郡バイパスでは、最後のトンネル区間である豊沢トンネルの実質通式に立会ったり、変更積算を担当したりするなど、市では滅多にない大規模な土木工事を経験しました。

また、最先端の土木として、建設生産システム全体の生産性向上を図るi-Constructionに取り組んでいました。担当工事はMCバックホウを用いたICT土工で施工されており、土木技術が日々進化している状況を直接経験でき、とても刺激を受けました。

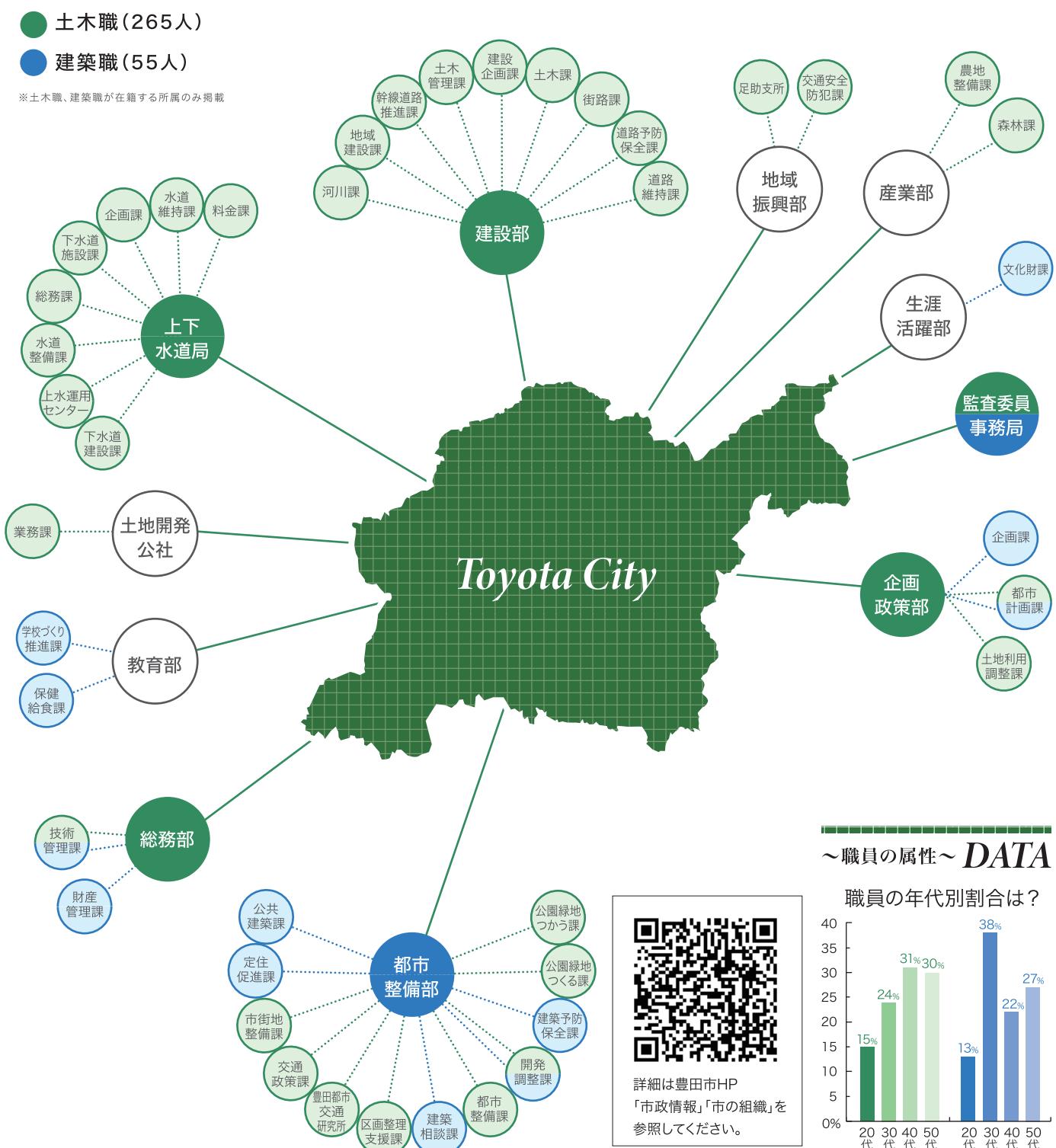
私は生まれ育った豊田市の職員として、市民の方はもちろん、訪れた人々にも誇れるまちづくりを目指しています。その上で、豊田市では国だけでなく、多方面に出向するチャンスがあり、技術者として視野と見聞を広げることができますので、誇りある技術職員となり是非一緒に未来の豊田市を創造ていきましょう！

水道整備課 → 料金課 → 街路課 → 国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 工務課
→ 街路課

土木職（平成22年度採用） 高木 翼



FIELD ~広い活躍の場所~



WORK ~主な仕事~

企画・計画	設計	工事	維持管理	指導・許認可
豊田市の将来像を考え、土地利用や道路、施設整備、水道事業などの計画を行います。市役所だけではなく、住民説明会やパブリックコメントを通して市民の意見も集約していきます。	設計コンサルタントなどへ設計業務を委託することが多いですが、工事の規模によっては、自ら設計を行う場合もあります。関係機関との協議を重ねながら仕様を決めています。	設計内容に基づいて工事費用の積算を行い、工事を発注します。工事期間中は、進捗状況や必要書類の確認、現場立会などを行います。工事完了後に検査を受け、一連の工事が終了となります。	既存の道路や建物、水道施設などの修繕および維持管理を行います。既に使用している道路や建物の一部を閉鎖して工事を行うため、警察や施設管理者との事前調整を綿密に行います。	民間企業等が行う開発行為や占用、建築確認申請等に関する指導や許認可を関係する法令に基づきながら行います。また、工事だけでなく景観や屋外広告物に関する指導や許認可も行います。



マンツーマン指導者や
新規採用職員研修を経て、
基礎の習得を
目指す。

学生と社会人の違いは、目に見えるやりがいを常に感じられるこだだと思います。特に市役所の仕事を、自分の働きが直接市民に影響するため、日頃から明確な目的を持って仕事をすることが重要であると学びました。また、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での新人研修が例年より少なかったのです。が、分からぬことはマンツーマン指導者始め多くの先輩が丁寧に教えてくださったため、一つ一つ着実に仕事の基礎を身に着けることができました。



指導者から卒業し、
1年目で学んだことを
生かしながら
自身で考え行動し、
更なる成長を目指す。

入庁して2年目となりましたが、どの業務に対しても指導者にサポートしてもらっていた1年目と異なり、業務量が増え、自身で考えて行動していかなければならぬため、昨年度よりも業務への責任感が増したと感じます。分からぬところがあれば関係図書を確認したり、経験豊富な先輩職員や上司の助言を受けながら日々の業務を取り組んでいます。



初めての異動を経て、
新しい**業務経験**を積み
技術職としての
視野を広げる。



新しい分野で

幅広い**知識**を習得し、
自身の将来に向けた
キャリアビジョン
を描く。

最初に配属された土木課では、主に生活に密着した道路の拡幅整備等の設計・算定・監督業務に携わりました。現在は建設企画課に異動して1年目になります。これまでの業務とは異なり、道路整備の促進に向けた補助金の確保や同盟会・協議会の運営・実施といった企画・調査業務が主な業務になりました。国、県などの関係行政機関との関わりが増え、調整力や説明力が求められます。上司・先輩の助言を受けて取り組んでいます。



中堅職員として、
後輩育成等を通して
リーダーシップの
習得を目指す。

入庁して10年が経過し、はじめは4年間公園整備事業に携わった後、土木管理課に配属されて6年目となりました。

課内では若手(?)にあたる年齢だと思いますが、経験年数でいうとベテランとなるため、自分が周囲を引っ張っていくんだという気持ちで仕事に臨んでいます。土木管理課は対外的な折衝案件が多く、意見が分かれてしまうことが多いですが、はっきりと市の考えは伝え、お互いにとって折り合える部分はないかを模索しながら、解決策を見出すことにやりがいを感じています。重要な案件については必ず報告・連絡・相談し、適切な解決・対策することを特に意識しています。



公園緑地つかう課

岡本 晶人
(令和2年度採用)

下水道建設課

伊藤 美郁
(令和元年度採用)

建設企画課

夏目 留至
(平成28年度採用)

建築相談課

山田 淳司
(平成25年度採用)

土木管理課

神谷 輝
(平成23年度採用)

～職員の1日～ 1 day schedule

8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
出勤	書類確認・事務作業、課内打合せ			昼休み	現場検査・業者打合せ				残業	帰宅	

下水道建設課 伊藤 美郁



未来を築こう。



豊田市 総務部 人事課

〒471-8501 愛知県豊田市西町3-60 TEL 0565・34・6609
FAX 0565・34・6815 E-mail saiyo@city.toyota.aichi.jp

職員の所属は令和2年4月1日現在のものです。

豊田大橋